

福生 FUSSA

市議会だより

第 76 号

62 年 10 月 20 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町 5 番地  
電話 0425 (51) 1 5 1 1 (代表)



地域の方々に気軽にスポーツが親しめるよう

熊川地区に体育館ができました

—十月十一日の式典風景—

# 熊川体育館オープン

## スポーツに親しみ 健康づくりを

身近なところでスポーツに親しみ、健康づくりができるようにと熊川地区に体育館が建設され、十月十一日にオープンしました。

スポーツは、すべての活動の基礎であり健康と体力を増進させ、人間性を豊かにし、市民のコミュニケーションを促進させるために重要な役割を果たしています。

当体育館で幼児から老人までの市民がスポーツを楽しみ、健康づくりとあわせて市民相互の親睦の場として、大いに活用が期待されます。

### <施設の概要>

位置 福生市大字熊川383—3  
敷地面積 3,944.29㎡  
構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建  
建築面積 1,180.87㎡  
延床面積 1階 1,158.62㎡  
2階 399.25㎡

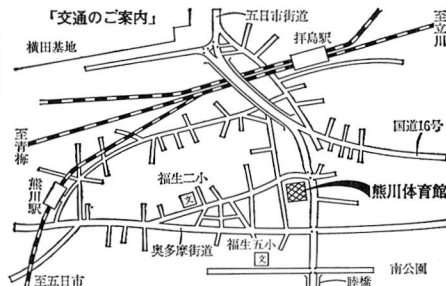
### <利用時間>

開館時間 午前9時～午後10時  
休館日 毎週火曜日  
祝日の翌日(火曜日が祝日の場合は火・水と休館)  
年末年始

### <体育館使用料金表>

(単位円)

施設名	貸切使用料(1時間につき)			個人使用料(1回につき)	
	市内在住 勤在学者	左の者以外	入場料の類を 徴収する者	小人 (中学生以下)	大人
第一体育室	1,000	3,000	6,000	50	100
第二体育室	500	1,500	3,000	50	100
会議室	300	900	1,800		



## 第3回 定例会

秋の香ただよい始めた9月14日、昭和62年第3回定例会が招集されました。

本定例会には、福生市民体育館条例の一部改正を初め、昭和62年度福生市一般会計補正予算(第2・3号)及び昭和61年度各会計決算等、20議案と陳情2件が提出されました。

9月		審議日程
28日	本会議	
25日	議会運営委員会	
19日	総務委員会	
18日	建設委員会	
17日	厚生委員会	
16日	本会議	
14日	本会議	

第一日目 会期を十五日間と決めた後、通告のあった九人の議員から、福祉行政や教育行政等について一般質問が行われました。

第二日目 前日から引き続き一般質問を行った後、議案の審議に入り、福生市民体育館条例の一部改正を初め六議案と陳情二件が各委員会に付託され、一議案が同意されました。また、昭和六十二年一般会計補正予算(第二号)は、討論があり、他の一議案とともに起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

第三日目 各担当委員会で審査された議案等の審査報告がされ、昭和六十二年一般会計補正予算(第三号)は賛成多数で可決、また福生市に非核都市宣言を求める陳情書は討論の後、不採択となり、その他は可決されました。

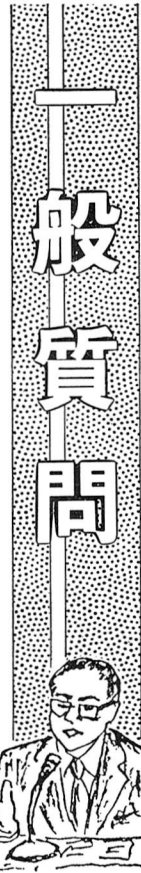
その後、昭和六十一年度各会計決算等十一議案が提出され、各委員会に付託、昭和六十一年度一般会計決算認定につきましては、特別委員会で審査することになり、委員長に井上寅吉議員、副委員長に南木繁男議員が選任されました。

## 事務の窓口休み は考えの出張事務と拡大

波及し、職員の配置等の問題があ  
ってむずかしい状況である。  
出張事務について、職員を配置  
し事務処理をするには、基本デー

質問 昼休みの  
窓口事務として、  
多くの市民に利用  
されているが、こ  
の事務の拡大につ  
いて、また、最近  
は事務機器も発達  
し、市役所の事務  
について既設の公  
共施設を利用した  
出張事務について  
伺いたい。

市長 昼休み窓  
口事務は、昭和五  
十一年より職員三  
名で業務を限定し  
て始めたが、取り  
扱い業務を拡大す  
ることは全庁的に



# 一般質問

夕を本庁舎で管理しているので、  
その確認事務や、職員の派遣、公  
金の扱い等大変むずかしいと思  
う。



市役所の窓口

### 老人医療共済制度

#### 当市でも実施を

質問 高齢化社会に向け、各市  
で老人医療共済制度を実施してい  
るが、基金の積立てによりこの制  
度を実施する考えはあるか。

市長 健やかに老いることがで  
き、長生きして喜ばれる諸条件の  
整備が必要と思うので、十分今後  
研究していきたい。

福祉部長 実施市の内容は、六  
十五歳以上の老人を対象とし、個  
人負担は年齢によって額が違  
うが、七十歳以上は免除されてい  
る。見舞金は入院日数によって月五千  
円から最高五万円という市もあり  
加入率は約六五％で、平年度の事  
業費が二千五百万円。

こうした制度を実施する場合は  
職員や財政負担も伴うので今後研  
究していきたいと思う。

第3回定例会では  
9人の議員が一般  
質問を行いました

### 建設中の老人ホーム

#### 市との関係は

質問 多摩橋ぎ  
わに、民間による  
老人ホームが建設  
中であるが、入所  
等について市との  
かわり合いを伺  
いたい。

市長 十一月に  
オープンする予定で  
あるが、社会福祉  
法人が国や都の補助金を得て建設  
しているもので、市としてもこの  
施設が必要である旨の意見書を提  
出した。これができれば市民へ  
の老人福祉施策上重要な拠点とな  
ると思う。

この施設は鉄筋コンクリート三  
階建て、職員は四十八名で運営さ  
れるが、常時医師の手当てを要す  
る人は入所できない。手続等の相  
談は福祉事務所で行っており、オ  
ープンについてPRしたい。

### 中学校の給食

#### 他市の状況は

**質問** 中学生の保護者の多数から、中学校給食の実現の声が聞かれるが、他市の状況や検討委員会設置の考えについて伺いたい。

**教育長** 都下二十六市中十二市

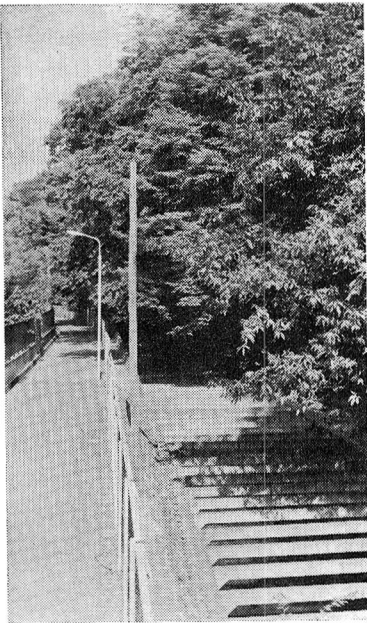
は実施しておらず、このうち五市はミルク給食もやっていない。当市でも過去において二年間にわたって検討されたものの、結論が出なかったこともあり、大変むずかしい問題である。その後年月も経っているので、教育委員会に諮り検討会なり研究会の発足について考えていきたい。

## 下の川の整備

### 緑の保全是万全か

**質問** 下の川にふたをし、道路とする工事が始まるが、この沿線は緑も豊かに残っている。下の川を道路とする経済的効果と、緑の保全に対する総合計画等について伺いたい。

**市長** 下の川は、当市の排水区域面積六百六十八ヘクタールの下水道計画上、重要な河川であり、沿線の市街化により流出量も年々増大し、溢水したこともある。今後、防衛補助事業として約千五百メートルを改修し、上部を道路として利用するが、基本的には緑を保全することには必要と考



改修される下の川

えている。

今回の工事にあたっては樹木の伐採は、必要最少限に止め、緑の保全に努力したい。

#### 建設部長

下の川の側道が五日市線や五日市街道で遮断されており、この工事により生活環境や道路の整備が図られると思う。行政目標としての緑のマスタープランを尊重し緑の保全に努力していきたい。

#### 対応は

**質問** ① 電算機導入に伴うプライバシー保護について、再三質問してきたが、その後個人情報の保護規定が

#### 公開情報

#### 今後の

化の方向で考えるとのことであったが、その後の動きを伺いたい。

#### 当市の

② 電算化による個人情報、自治体でどのような形で持っているかという点の個人情報の開示要求に対する市の対応を伺いたい。

③ 情報公開制度も一部の自治体しか進んでいないが、しかし公開の考え方が重要である。当市も電算化の進む中で、この情報公開についてどう考えているか。

**市長** ① 個人情報、電算処

## 人事

#### 固定資産評価審査委員会委員

堀田晴二委員の任期満了並びに森田秀雄委員の辞職に伴ない、次のとおり後任の委員を同意しました。

堀田 晴二(本町一四二)

石川 泰一(熊川四八)

教育委員会委員

野島茂雄委員の任期満了に伴い、次のとおり後任の委員を同意しました。

上沼 舜二(熊川一四一四)

理にかかるもの以外にも各分野に数多くあるので、それ等を含めて条例化を考えたい。

② 現行の保護規則第十二条の開示請求は、手続きが管理者に任せる形になっており、不明確な部分もあるため、現在内部の連絡会議で検討中である。

③ 信頼性の確保や高効率行政を目指して実施されているが、正確な情報の検索システムの確立とか、プライバシー保護と行政の公正、情報公開と市民の行政ニーズ等、利用上の問題点もあるので、プロジェクトで十分検討したいと思う。



一般質問項目

- 中学校給食について
- 中学校の給食問題に対する市の基本姿勢について
- 職員の仕事について
- 昼休み窓口事務と出張事務等について
- 老人医療共済制度について
- 制度の概要と市の方策について
- 特別養護老人ホームについて
- 建設中の施設と市との関係について
- 横田基地について
- 1、ブルーインパルスの飛行中止について
- 2、横田基地公害訴訟について
- 3、市内上空の飛行について
- 4、六〇八月期の離着陸数について
- アスベスト（石綿）について
- 1、学校等からの除去について
- 2、水道管などの影響について
- 下の川のふたかけと緑の保全について
- 下の川の緑の保全の考え方について
- プライバシーの保護と情報公開について
- 1、保護条例について
- 2、個人情報の開示について
- 3、情報公開条例について
- 国民健康保険について
- 保険税の減免措置と保険証の交付について
- 老人福祉について
- 痴呆性老人対策について
- 市民の保養施設について
- 市民のための海、山の家設置について
- 青梅線牛浜駅の改善について
- 駅ホーム及び東口階段の増設とトイレの設置について
- ペットの散歩について

糞処理対策について

- ホタル祭りについて
- ホタル公園のPRと今後のホタル祭りについて
- 社会教育について
- 文化祭の運営と市民文化の向上について
- 消防行政について
- ホース等の格納箱の対策について
- 福祉行政について
- 総合福祉センターの建設について
- 駐車場について
- 公営駐車場設置の考えについて
- 民間航空機について
- コミュニター航空及びヘリポートの考えについて
- 青少年問題について
- 青少年の健全育成と国際感覚養成のための基金設立について
- 幼稚園について
- 保護者負担軽減補助金について
- 横田基地について
- 1、ブルーインパルス曲技飛行の中止について
- 2、軍用機の騒音と市内上空の低空飛行について
- リサイクルセンターについて
- 1、作業所の設備及び作業環境の改善について
- 2、注射針による労災対策について
- 労働行政について
- 民間日雇労働者対策について
- 雨水排水について
- 熊川地区（五十番周辺）の雨水排水対策と今後の計画について
- アスベスト問題について
- 公共施設等で使用されているアスベストの撤去計画について

下の撤去計画について

- 五日市線改善について
- 利用者の要望に対する市の援助について
- 基地問題について
- 1、ブルーインパルスの曲技飛行中止について
- 2、日米親善友好祭に対する見解について
- 3、軍人軍属の交通道徳について
- 福生市行政改革大綱について
- 行政改革の推進に対する見解について
- アスベスト問題について
- 当市の施設の状態と人体に及ぼす影響について
- 市のPRについて
- 市独自によるカードやはがきの発行について
- 国道一六号線沿いの歩道等について
- 歩道の整備と負担について
- ごみ処理について
- 余熱利用等の二次利用について
- 国有地について
- 1、農地貸付けと転用貸付け等について
- 2、国有地の払い下げ問題について
- 福祉問題について
- 総合福祉センターの計画とその内容について
- 熊川土地区画整理事業について
- 現況と今後の計画について
- 用途地域について
- 見直しについて
- 観光事業について
- 観光事業の振興と開発について
- 相談事業について
- 税務相談の実施について

問題のアスベスト

使用状況と除去は

質問 発ガン性があるといわれるアスベストについては、当市の学校等に使用されていると思うが、この除去についてと、アスベストである石綿の水道管は、どのくらい使われているのか。

市長 できるだけ早く除去し、万全を期していきたい。

教育次長 各学校の教室にはなく、機械室が主である。一部階段の天井にあり、八月末までにこれを除去し、また講堂兼体育館については今月中に撤去、機械室は今後検討していきたい。

建設部長 市民体育館の玄関や控室に使われており、天井からの飛散防止工事をしたい。また水道事務所の部分については都と協議している状況である。水道管としての古い石綿管は、全体の約二九％であり順次交換しているが、今後数年かかると思う。水道水中のアスベストのガイドラインもなく、胃に入った場合の影響データは得られないが、資料によれば心配ないとのことである。

### 基地の公害訴訟判決

#### 市長はどうとらえたか

**質問** ① 日米親善友好祭にブルーインパルスの曲技飛行が中止となったのは、日米合同委員会における禁止事項や横田基地の公害訴訟に対する東京高裁の判決による影響だと思ふ。この中止過程で市長はどのような行動をとったのか。

② 過日、横田基地の公害訴訟について東京高裁の判決が出たが、市長の考えと、今後の態度について伺いたい。

③ 最近、市内上空の旋回飛行が多くなっている。これは日米合同委員会の協定に違反していると思ふが、その点基地に申し入れたのか。また、E-2Cの飛行訓練についての見解を伺いたい。

④ 六月から八月期の離着陸数を去年との比較で聞きたい。

**市長** ① 東京高裁の判決では、ブルーインパルスの曲技飛行は昭和三十九年の日米合同委員会の合意事項に違反するとの判断が示されたが、国では年一回の展示目的の飛行は、合意事項の範囲外であるとの見解であり、最高裁の

判断を仰ぐ方針のようである。

七月末に防衛施設庁の見解を求めたところ、今年のブルーインパルスの飛行は諸般の事情により中止する旨、米軍に回答したとの連絡を受けた。今後は最高裁の判断が示されるまで高裁判決を考慮し、対応すべきだと考えている。

② 夜間飛行の禁止請求は認められなかったが、騒音は受認限度を超えているとして、迷惑料が一審の四倍になり、原告に理解を示した判決だと思ふ。

しかし、昨年の東京高裁の厚木基地控訴審では高度の公共性を理由に騒音も受認限度内であるとして、迷惑料請求まで退け極めて対象的な判決となっているので、今後の最高裁判断を注目している。

③ 以前から市内上空の飛行は極力避けるよう要請しており、合意事項にあるコース設定につき、できるだけ多摩川に沿って飛行するよう要請していきたい。

**企画財政部長** E-2Cの件は国より九月八日から、休日を除く八日間、午前と午後の二時間の離着陸訓練を実施する旨連絡を受け、即中止要請をするともに、その後も基地側に要請をした。

**市民部長** ④ 六月は千四十二回で前年より二百三十一回の減、七月は千百九十七回で前年より二

十七回の増、八月は千八百七十八回で前年より四百六十八回の増となっている。

### 総合福祉センター

#### 現況はどうなのか

**質問** 総合福祉センターの建設

について、以前より質問してきたが、慶弔の場も含めて検討したいということであった。いずれにせよ用地確保が問題であり、現況を

伺いたい。

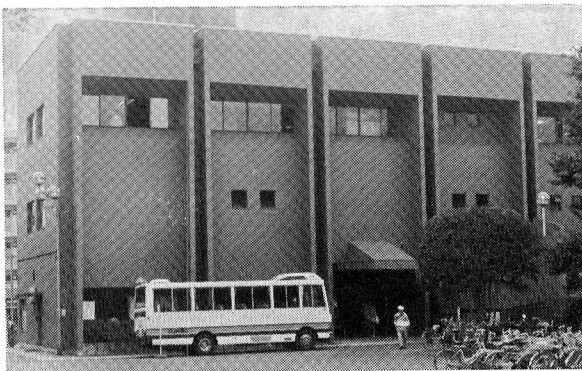
**市長** 将来を展望して、福祉施設の中心的機能を持った施設とする考えで、近くプロジェクトを発足させたい。用地について鋭意努力中であり、測量や建物補償等について調整中で、できるだけ早く公社で先行取得していきたいと思っている。

#### 公営駐車場の設置

##### その後の経過は

**質問** 当初予算にも公営駐車場設置の調査費が計上されているが、その後の経過はどうなっているのか。

**市長** ご心配をいただいている案件だが、施策検討課題の一つとして取り上げてプロジェクトで論議している段階であり、まだ調査の委託はしていない状況である。



開館して十七年が過ぎた

福祉会館

## 一本会議における討論の概要

### 昭和62年度一般会計補正予算（第2号）

**賛成** 下の川の改修予算が計上されたが、この周辺は区画整理ができ、飛躍的に開発が進み住宅も密集し、こうした住環境等の都市基盤整備が進むと同時に、下の川は豪雨のたびに、溢水の危険にさらされてきたが、このたび、国の補助事業として、これが整備されることになり、周辺住民の懸案問題も解決できる。周辺の緑の保全に配慮しつつ一日も早く完成させることが急務であり、賛成する。

**反対** ★当初計画では、下の川はふたかけして遊歩道程度の道路と思っていたが、この予算では大規模な工事になっており、即決せず付託審議すべきであり反対する。

**反対** ★この予算については、理事者は初めから即決させる考えであり、議会軽視も甚しく、機能を果せず、議決機関の審議はどうでもいとする本提案に反対する。

### 昭和62年度一般会計補正予算（第3号）

**賛成** 今回の補正は、民生費における都支出金や市税の大幅な増額、また防衛補助金が認められたため国庫補助金の補正であるが、当初予算において都市整備基金を一部取り崩したので、2億円余りをこの基金に戻し、今後の財政需用に備えようとする措置がされ、非常に適切な判断であり本案に賛成するものである。

**反対** 歳入の4億4,000万円を都市整備基金へ2億円繰戻し、予備費に1億2万円を計上しているが、このことは財源の留保としか考えられず、市民の要望を実現させるために振り向けられていない。

これは住民無視の市政であり反対する。

### 福生市に非核都市宣言を求める陳情書

**賛成** 全国の多くの自治体で宣言決議をしている。過去において平和都市宣言をしているので、必要ないとの意見もあるが、この陳情に賛成する市民も多い。

また原子力発電も事故が発生し核兵器同様危険であり、この地球上から排除すべきである。したがって採択すべきである。

**反対** この陳情書は、同趣旨のものが再三提出され、その都度不採択の意思決定がされているものである。このことは世界平和都市宣言市として、非核三原則堅持に関する意見書も提出しており、この趣旨と一致するものである。

また、わが国における電力エネルギーの40%近くが、原子力発電に依存しており、核平和利用は当然の理念であり採択には反対である。

#### 補助金を増額し

#### 保護者の負担軽減を

**質問** 幼稚園児をかかえた親の負担を軽減するために、現行の補助金額を近隣の市町と同額に引き上げる考えはあるか。

**市長** お子さんを幼稚園に通園させるとなると、家計にも大きな負担になる。市でもその軽減のため補助をしているが、近隣の市町と比べて差もあり、今後も財政の許す範囲で努力していきたい。

#### 青少年育成の国際基金

#### 設置の考えは

**質問** 将来の福生市を担う青少年の育成のため、青少年国際交流基金の設置を提言したことがあるが、その後の動きはどうか。

**教育次長** 貴重なご意見と受けとめ、各市の状況調査や内部協議もしてきたが、二市においては市民の篤志家の寄附による基金があり、一市は高校生を対象に姉妹都市への派遣事業をやっている。今後プロジェクトを発足させて、検討していきたいと思う。

### コミュニーター航空の

#### 研究を提言したが

**質問** 民間機乗り入れなり、ヘリポート設置について質問したときに、広域行政圏協議会で研究するよう提言したとのことであったが、その後はどうなったのか。

**市長** 国の四全総計画でも、多

極分散型の国土形成を目的として地方都市を中心に、小型機用空港やヘリポートを利用したコミュニーター航空について審議が始まっている。都市交通としては望ましいが、かなり長期的視野で取り組む課題である。国や都の動きをみて広域圏の中で、その気運の醸成に努めていきたいと思う。

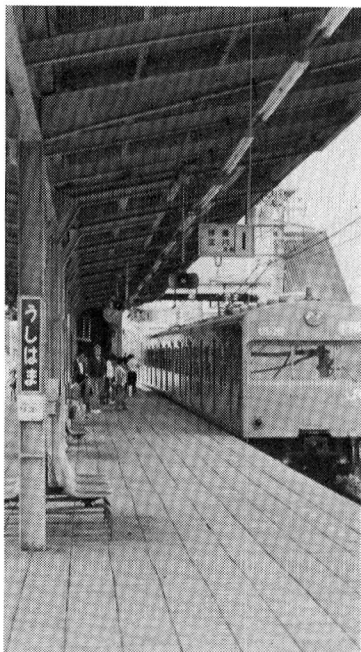
## 牛浜駅の改善

### 要望できないか

**質問** 最近では青梅線も東京直通がふえ、車両も十両編成と長くなったが、牛浜駅のホームは階段が一カ所しかないのが危険であり、不便でもあるので、この増設と、

また東口福生寄りに階段とトイレの設置についてJRに要望する考えがあるか。

**市長** 牛浜駅はすべてJRの財産であるが、駅や東口の利用状況等の実態調査を広域行政圏協議会を通してJR側に要望したい。



改善が望まれているJR牛浜駅

### 条例化をして

#### 糞処理の義務付けを

**質問** 犬の散歩等による糞の苦情も多く、対策に苦慮しているが、埼玉県のある市では、飼い主による糞処理を条例で義務付けたとの新聞報道を見たが、当市でも対策を考えたらどうか。

**市長** ペットを飼っている人のモラルの問題だが、犬の糞処理を広報等でもPRしている。条例化については研究してみたい。

### 消防用の格納箱

#### 活動に役立つのか

**質問** 各町会に古い消防用の格納箱があるが、実際の消火活動に役立つものか疑問である。これらの対策を市では考えているのか。

**市長** 昭和三十年代より各町会で管理していたが、常備消防や消火器の設置により、これを廃止した町会もある。市では初期消火の目的で市内に消火器の増設とか消防団の充実等進めているので、関係町会とも相談していきたいと思う。



8月	7月
10日	1日
	市制記念式典
28日	2日
	八高線電化促進期成同盟 会総会
23日	7日
	横田基地対策特別委員会 全国市議会議長会基地協 議会理事會
20日	8日
	全国市議会議長会基地協 議会実行運動
16日	9日
	多摩地区離職対策連絡協 議会総会
14日	13日
	横田基地対策特別委員会
13日	14日
	三多摩地域廃棄物広域処 分組合議会
10日	16日
	議会報編集会議
	三多摩上下水及び道路建 設促進協議会正副会長・ 委員長會議
	多摩地区離職対策連絡協 議会
	西多摩衛生組合視察
	八高線八王子・高麗川間 複線電化促進協議会総会
	三多摩上下水及び道路建





## 海や山に

### 保養施設の設置を

質問 市民のための保養施設は直営もあれば賃貸もある。以前から質問をしてきた海や山の保養施設の考えを聞きたい。

市長 保養施設の設置状況を今調査しているが、その結果によってプロジェクトにより必要性や効果等を研究し、方向づけをしたい。

### 国庫補助の増額に努め

#### 減免制度の導入を

質問 国民健康保険事業は、国庫補助と加入者の保険税で運営されているが、どこの市町村も苦しい状況である。もっと国の補助金確保に努め、所得の低い加入者に対する減免制度を設ける考えはあるか。また保険税の滞納者に対する保険証の交付について伺いたい

市長 条例によって、その世帯の所得額により軽減措置をしており、事情によっては相談も受けている。今年から特別の事情もなく滞納していると保険証を返還して

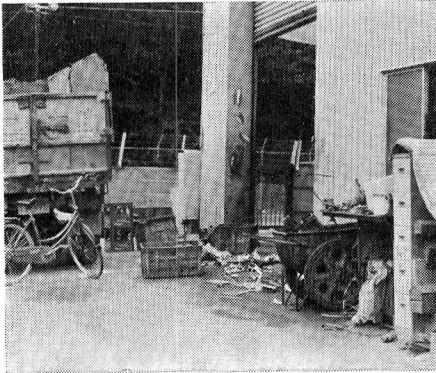
いただき、その代り資格証明書を交付することにしたが、これ等の実施にあたっては十分周知徹底を図り、慎重に対応していきたい。

市民部長 保険税滞納者で保険

## リサイクル

### センターの改善を

質問 リサイクルセンターの作業は民間業者に委託しているが、公共の施設としては環境も悪くベルトコンベアー等危険な構造になっている。この改善策と、またごみの中に注射針が混入していて、手に刺さる事故が多いようである。



リサイクルセンター

作業所

証の郵送を差し控えたのは千百十五通、このうち八百四十通は窓口で交付、その外は書留郵送したが百五十一通が連絡がつかず交付されていない。

これ等の対策を聞きたい。

市長 今の施設は五十四年から稼動しているが建て替えとなると地元との関係や現施設の耐用年数、あるいは財源の問題もあるので、今後調査研究してみたい。

不燃物の選別処理を委託しているが、最近では多種多様になり大変苦慮している。注射針については、医療機関で缶に入れ密封することにしているが、十分調査をして対応を協議していきたい。

### 軍用機の低空飛行

#### 今後の対策は

質問 ① 国の方針でブルーインパルスの曲技飛行が中止になったことは喜ばしいことであり、その考え方はどうか。またそれ以前に各団体から中止の申し入れがあ

ったと思うが、その対応を伺いたい。

② 最近、市内上空を軍用機が低空で訓練飛行しており、市民に対して墜落の危険性や騒音による不快感を増長させているが、この対策を聞きたい。

市長 ① 中止要請はしていないが、七月末に国に、東京高裁の判決を考慮し、慎重に対処すべきと考えているが、今後どのように対応するのか申し入れをしたところ、八月四日に国では合意事項に違反していないと考えているが、諸般の事情により今年は中止する旨米軍に回答したとの連絡を受けたわけである。

② ご指適のように、市内上空を低空で飛行しているが、従来から市街地上空の飛行は避けるよう要請してきた。この機会にさらに国や基地側に申し入れていきたい。

総務部長 中止要請の申し入れがあった団体は、原水爆禁止昭島協議会、西多摩地区労働組合協議会、横田基地公害訴訟団の三団体で、内容は曲技飛行禁止の日米の取り決め、基地周辺住民の安全と騒音の阻止、墜落の危険性といった内容で中止申し入れを受けた。

## 民間日雇労働者の

### 仕事のあぶれ対策は

**質問** 民間の日雇労働者として職安に登録されている福生市民は何人いるのか。仕事あぶれ等、生活を守る立場からその対策を伺いたい。

**市長** 当市の民間日雇労働者は三名いるが、労働組合からも公共工事受注者への雇用要請があり、業者側の協力もあって清掃や除草等の作業に就労している。

## 雨水排水の

### 今後の対策は

**質問** 公共下水道は整備が進んでいるが、雨水排水は不十分な地域もある。例えば熊川地区の五十番地周辺の今後の整備計画を聞きたい。

**市長** 最近の市街化の進展に伴い、雨水の流出量の増大に対応するため、中央排水区の見直しと管渠施設の拡充を図る計画であり、浸水等の心配される地域を重点的に枝線の管渠布設をしていきたい。

熊川地域については、中央二号幹線として六十三年度より管理設計画されており、この実施計画に包含されている。

**建設部長** 熊川五十番地先の市道二六三号線を来年度で路面排水の整備をしたい。雨水排水計画と

## 行政改革大綱の

### 再考について

**質問** 当市の行政改革大綱は、市民の立場に立った内容になっていない。行革に名をかり、市民サ

しては、基地排水を含め二四〇程度で、現在の事業計画を完成するという前提だと今後の事業費は約百億円を超えるものと思っっているが、来年度からの三年計画では、下の川改修事業を含め約十二億円の事業を見込んでいます。

**質問** ービスの切り捨てと高負担を市民に押しつけるものである。市民不在のこの大綱の再考を促したいと思うがどうか。

**市長** 市民の代

表による審議会において慎重審議の上答申をいただき、それによって行政改革大綱を策定して進めているものである。今後の行政需要の多様化等を考慮し行政の効率的な運営を図るため、受益者に適当な負担をお願いしようとい

うことであり、これから具体的な改革案を検討中である。

## 当市の

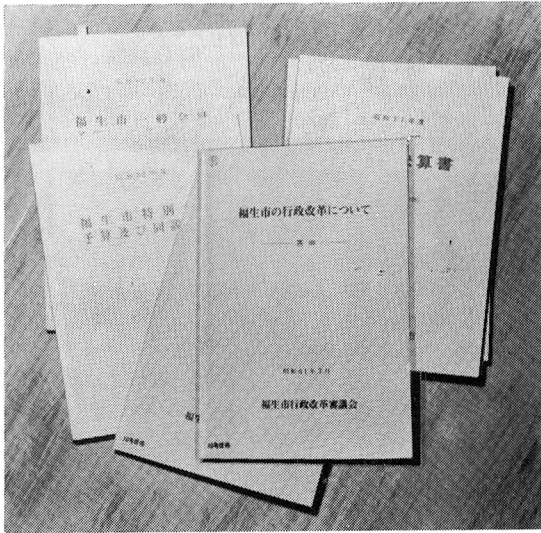
### アスベストの状況は

**質問** 体内に入ると障害を起こすといわれるアスベストについて、当市の状況とその撤去について申し入れてきたが、その後の対応と、防衛補助事業にする撤去経費について伺いたい。

**教育次長** 教育関係の施設では教室には使われていないが、七小の階段や一中の体育館兼講堂の天井に使われている。子供が直接接触れると思われるこれらのところは早急に撤去し、機械室については時期をみて撤去したい。

これらの復旧費は、国でも負担するというところであるが、今回は急であるので申請しない考えである。

**建設部長** 市民体育館の玄関ホール天井については、できるだけ早く下に新天井をつくり、石綿が飛散しないようにしたい。水道事務所は都の施設であるが、市の方針に沿って都と協議をしている段階である。



61年7月答申された行政改革答申書

## 五日市線

### 熊川駅の改善を

**質問** 熊川駅を利用している市民のアンケートをとったところ、屋根の増設、東西口の設置、電車の増発等切実な声が多く出されたが、こうした声をJRに反映すべく市でも対応する考えはあるか。

また五日市線改善期成同盟会への加入について伺いたい。

**市長** 五日市線に限らず、広域行政圏協議会の設置により、改善期成同盟会も吸収され、この広域行政圏計画に基づきJRの関係者を呼び要望等を行ったが、今後もそうした要望を継続的にやっていきたい。

### 曲技飛行の中止

#### 今後はどうなのか

**質問** ① 日米親善友好祭におけるブルーインパルス曲技飛行について、市長は中止の申し入れはしないと言いつつ続けたが、今回はこれが中止となった。今後はいかなる曲技飛行もさせないための対応を考えているのか。

② 九月五日、六日に開かれた友好祭には、曲技飛行はなかったものの、F-15がものすごい爆音でデモ飛行し、また周辺の道路には車があふれ、決して市民のためにはなっていない。こうした点について申し入れをしたのか。

③ 市では交通安全宣言都市として、市民には交通安全を呼びかけているが、しかし基地の軍人軍属の交通モラルは低く、事故の場合の補償も十分でない。こうした点について基地側に申し入れるべきであると思うがどうか。

**市長** ① 国では最高裁の判断を求めるやに伺っているが、東京高裁の判決を考慮し、慎重に対処すべきだと考えている。国の判断で中止を決めたことであり、私としては特に異存はない。

② 基地はない方がいいが、国策上やむを得ないと思う。基地の理解と外国人との交流を深める意味で、毎年友好祭が開かれるが、本年も延べ十数万人が来たようである。開催にあたっての安全性とか駐車場等について、基地側に申し入れたいと思う。

③ 米軍においても事故を起こした場合に厳しい処置で指導、

監督をしているようで、基地外での交通事故処理対策は、防衛施設

庁で対応しているが、今後も事故防止を要請していきたい。

## 国道十六号線の歩道整備

### 個人負担はどの位か

**質問** 基地前の横田商栄会や武蔵野商店街も、国道の拡幅整備できれいになるが、歩道の部分の整備は個人負担のようでありどのくらいの負担となっているのか。

**建設部長** 国道沿いの武蔵野商店街と横田商栄会の約一・六キロメートルの区間について、計画変

更の際、地元と建設省が協議した上で、歩道部分の緩衝帯や駐車帯等、地元意向を十分反映した形でまとまったものであり、その負担割合は、協力姿勢にこたえ一五％以下の負担である。この工事も来年三月にはすべて完成する予定である。

### 市のPRを

#### もっと積極的に

**質問** 当市のホテル祭りの図案の宝くじ券とか、七夕祭りのたばこやテレホンカードが発売されたが、市のPRとして、こうしたカードやはがきを発売したらどうか。

**市長** 対外的に市を理解してもらうため、PRすることは大切であり、市では市勢要覧を作成し、商工会でもテレホンカードを作って販売する等PRしている。市制施行二十周年も間近なので、ご提案の点を含め研究してみたい。



急ピッチで工事が進む

国道十六号線

### 石綿水道管の

#### 影響はないのか

質問 アスベストは燃えずに強いという経済効率から、多くの施設に使われ、〇・ニミクロンの繊維が体内に入ると肺ガンにもなると言われているが、石綿の水道等については影響はないのか。

市民部長 人体の影響としては、吸入障害や慢性的な石綿肺、気管支炎症を伴う呼吸困難など、肺機能障害を起こすとされ、長い潜伏期間を経て肺ガンや悪性中皮腫の原因になるともいわれている。建設部長 石綿管の水道水は、資料の範囲によると影響はないということである。

### ごみ処理の余熱

#### 二次利用できないか

質問 西多摩衛生組合のし尿処理も下水道の普及とともに減少しているが、生ごみは年々ふえており、この焼却熱を何かに再利用できないものか。

市長 衛生組合のごみ処理施設

も老朽化し、一方人口の増加や生活様式の変化から、ごみの質、量とも増大し、処理に苦慮しているわけである。このため施設の改善等検討されている段階である。ご提言の点を含め組合議会等で十分検討していきたい。

### 国有地の

#### 貸付け内容は

質問 市内に点在する国有地には、転用貸付け、農耕貸付け、未貸付けとがあり、これ等の条件もそれぞれ大きな差があるようで、その点の内容について伺いたい。

市長 未貸付けの国有農地の有効利用については、その土地の面積や形状等の実態を確認し、旧地主の意向も考慮して検討していきたい。

市民部長 市内には農耕用貸付地が四万四千方メートル、転用貸付地が六千四百四十五平方メートル、国管理の未貸付地が一万四千百十五平方メートル、合計五万七千八百六十六平方メートルの国有地がある。農耕貸付地は二十二年の次官通達で、区画整理地区の農地を買収した場合、将来の市の発

展を考慮し、駅から三百メートル以内とか、幹線道路沿いから奥ゆき百メートルは農家に売り渡さないうで国で保有することになっている。

転用貸付けは、必要やむを得ない限り原則として貸付けしない。未貸付けについては、農業委員会でも調査をし国側とも連絡をとっていききたい。

### 総合福祉センターの

#### 施設概要は

質問 総合福祉センター建設にあたって、関係団体からも要望されている点もあると思うが、施設の内容について伺いたい。

福祉部長 現在用地について交渉中であり、その後プロジェクトで細部の点を検討することになっている。

### 用途地域

#### 見直しの考えは

質問 現在の用途地域は、五十六年に見直されたものであるが、今回の見直しによる都のスケジュールによると、来年度に決定する

ようである。そこで当市の建ぺい率等の見直しの考え方を聞きたい。

市長 用途地域は都市計画事業の重要な柱である。建築活動を通じて実施されるものであり、地域レベルでの問題も発生するので、慎重な対応が要求される。従って都の方針や基準をもとに、当市としての原案づくりをいたしたい。

### 観光協会を設立し イメージアップを

質問 西多摩地域でも観光資源の乏しい当市であるが、七夕祭りや桜祭り等年々盛大になってきた。身近な観光資源の開発は地域振興にもつながり、市の活性化にもなる。そこで当市で観光協会を設立し、市のイメージアップを図る考えはあるか。

市長 市の活性化にとって観光事業の開発と振興は、大変意義があると思う。自然には恵まれない当市であるが、関係者のご協力により、七夕祭りや桜祭り、ホテル祭り等もあるので、今後検討するとともに充実に向けていきたい。



# 熊川地区の区画整理

## 地元説明会の空気は

**質問** 熊川地区の区画整理は、A調査が終わり、三月にはB調査もまとまり地元説明会も開かれたがその空気はどうであったのか、問題の内容をお聞きしたい。

**市長** 八月二十四日から五日間説明会を開いたが、出席率は約三九%であった。来月も説明会を開き、理解を得るよう努力したい。

**建設部長** 約四百十九名の権利者に通知し、約百六十名が出席さ



区画整理が予定

されている熊川地区

れ、減歩や小規模宅地等の問題について非常に真剣で積極的な質問とか、区画整理を前提とした意見が出された。

この事業では、都市計画道路を二本予定し、生活道路は通過交通を排除することを配慮して整備していきたい。区画整理上では減歩でご協力をいただくわけであり、移転による代替地の考えはない。過小宅地についても減歩緩和などの検討をすることになる。隣接の昭島市にも話しており、連絡を取り合って進めていきたい。用途地域の都基準も、土地利用の実態を尊重した形で見直し、ご指摘の点も参考にして、原案づくりをした

い。  
当市は五四%が建ぺい率三割の一種住専となっているが、他市に比べ特に多いとは思われない。熊川駅周辺は、南側に改札口があり現時点では、全体調査をする中でやはり住居地域になるかと思われまた北側は建ぺい率や容積率等の問題から、調査をした上で見直し

をしていきたい。拜島駅周辺も昭島市との境いであり、両市で調整した上で見直しもしたいと思う。

### 税務相談業務の

#### 窓口開設を

**質問** 最近の地価の狂騰により相続税や贈与税で頭を悩ませるとか、住宅減税や医療減税等につい

て相談したくも、その窓口がない。そこで常設の税務相談業務を設ける考えはあるか。

**市長** 市民からの相談があれば、担当の職員で対応しているが、複雑な問題は青梅税務署にお願いしている。窓口を設ける場合には、専門的知識をもった有資格者の協力等、関係者の調整も含め、検討していきたいと思う。

## 意見書

都立立川短期大学の生活科学系大学昇格に関する意見書

最近におけるわが国の社会の変動は著しく、好むと好まざるとにかかわらず、家庭生活も大きな変容に直面しておりますことは御承知のとおりであり、将来にわたっての家庭生活を考え、その基盤ともなる家政学の重要性を認識しなければならないと思う。

しかし、現在の都立立川短期大学では、消費者対応の専門職としての理念と技術を修得することは、困難な状況である。

したがって、今後の社会に重要視されるこの種の人材を輩出するため、この都立立川短期大学を、生活科学系の四年制大学に昇格するよう、強く要望するものである。

(この意見書は、東京都知事に送付しました。)

### 請願・陳情

▽採 択△

○陳情第六十二—十三号 都立立川短大を生活科学系大学(四年制)に昇格させるための陳情書

本町一

▽不採 択△

○陳情第六十二—十四号 福生市に非核都市宣言を求める陳情書  
福生二二三七片岡荘二〇一

阪上 孝男氏

天田 君子氏

—昭62・8・22提出—

—昭62・9・12提出—